

マレーシアの概要、 課題とニーズについて

2022年2月
JICAマレーシア事務所
村田広志

1. マレーシアの概要

2. マレーシアの課題とニーズ

(1) 食と栄養

(2) 環境

(3) その他

3. 質疑応答

1. マレーシアの概要

マレーシア基礎情報

面積	約33万平方キロメートル（日本の約0.9倍）
州など	13州、および3つの連邦直轄領 （クアラルンプール、プトラジャヤ、ラブアン）
首都	クアラルンプール
気候	熱帯雨林気候／熱帯モンスーン気候
人口	約3,270万人（2020年）（日本の約1/4）
通貨	マレーシアリング（MYR） 1MYR≒26円
名目GDP	約1兆4,166億リング（2020年）（約36兆8,316億円） （※日本の約1/14）
国家予算	3,321億リング（約8.6兆円、GDPの23.4%） （※日本：106兆6,000億円、GDPの19%）
民族	マレー系（約69%）、中国系（約23%）、インド系（約7%） （※マレー系には中国系およびインド系を除く他民族を含む）
言語	マレー語（国語）、中国語、タミル語、英語
宗教	イスラム教（連邦の宗教）（61%）、仏教（20%）、儒教・道教（1%）、 ヒンドゥー教（6%）、キリスト教（9%）、その他
政治体制	立憲君主制（議会制民主主義）
在留邦人	27,256人（2021年10月） 世界12位
日系企業	1,544社（2020年2月）

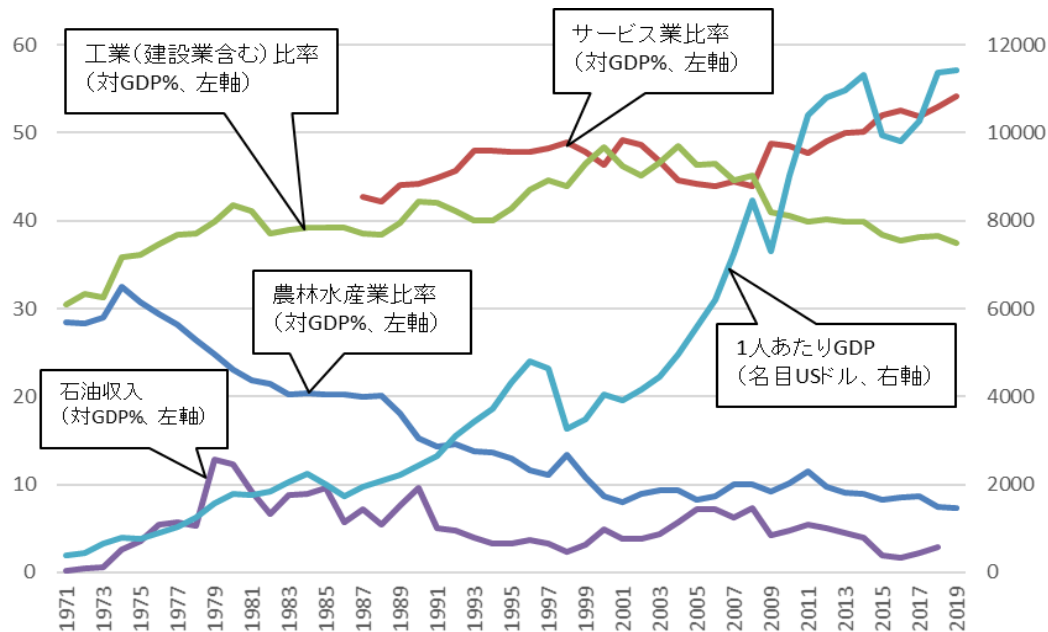


特徴

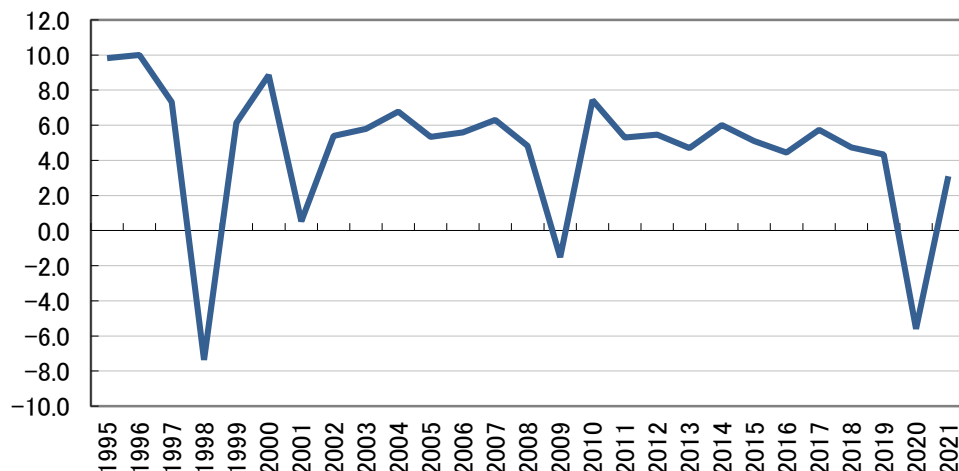
- ・歴史的な交易上の要衝
- ・経済的に成功した穏健派イスラム国家
- ・日本製造業の主要な海外拠点
- ・ルックイースト政策による親日、知日層
- ・日本への伝統的資源供給国
（天然ガス、木材等）

マレーシアの経済

過去50年の産業構造の変化 (左軸:%、右軸:USドル)



GDP 成長率 (年率 %)



2021年上半期の輸出入(上位5品目) 単位:100万リンギ、%

輸出			
品目	金額	構成比	前年同期比
電気・電子製品	213,710	36.5	28.4
パーム油・同製品	45,746	7.8	38.1
精製石油製品	36,791	6.3	24.8
ゴム手袋	36,542	6.2	210.2
専門的・科学的 および 制御機器と装置	20,445	3.5	22.1

輸入			
品目	金額	構成比	前年同期比
電気・電子製品	143,069	30.4	21.7
精製石油製品	39,130	8.3	31.5
金	11,111	2.4	251.4
鉄と鋼のフラット ロール製品	8,699	1.8	44.4
測定、照合、分析 および 制御機器・装置	7,285	1.5	23.9

出所:世界銀行、マレーシア統計局、JETRO

マレーシアの投資環境（１）

－ 外資規制について －

外資参入禁止業種

スーパー／ミニマート、食料品店／一般販売店、新聞販売店、雑貨品販売店、伝統薬／漢方等の薬局、ガソリンスタンド、常設の市場、歩道店舗・国家戦略的利益に関与する事業、布地屋、高級以外のレストラン、ビストロ、宝石店など

外資出資比率上限規制

- ・国家権益関連事業（水、エネルギー、電力供給、放送、防衛、保安等）：30% または49%
- ・製造業：ほぼ全ての業種で外資100%が可能
- ・各種法令によるライセンスが必要な業種（運輸、教育、石油関連製品販売等）：所管省庁が規定
- ・金融：外資／内資に関係なく、5%以上の株式取得には中銀の事前承認が必要
- ・ハイパーマーケット：外資70%まで。資本の30%以上はブミプトラが保有
- ・コンビニエンスストア：外資30%まで。資本の30%以上はブミプトラが保有

最低資本金規制

外国人向け雇用パスを申請する場合：

100%内資：25万リンギ、内資外資合併：35万リンギ、100%外資：50万リンギ

※事業内容や必要な許認可により、より細かな規定あり

マレーシアの投資環境（２）

－ 概況・評価、推奨戦略など －

参考データ

国際協力銀行（JBIC）わが国製造業企業の海外事業展開に関する調査報告（2021年度）：

日本貿易振興機構（JETRO）海外進出日系企業実態調査 アジア・オセアニア編（2020年度、2021年度）

ポジティブ面

- ✓ 外資に対して比較的オープン
- ✓ 英語が通じる
- ✓ 比較的高度な人材が確保できる
- ✓ インフラが整っている
- ✓ 生活面でも苦勞が少ない
- ✓ マーケットの現状および成長性（高付加価値品）

課題

- ✓ 競争環境が厳しい
- ✓ 人材確保、賃金上昇
- ✓ 人権問題
- ✓ 国としての市場規模の限界

考えられる戦略例

製造業：開発拠点、ASEAN域内・他地域向け輸出用製造拠点、他国のリスク分散先

サービス業：ASEAN域内や中東などへの横展開を視野に入れた、海外展開の試金石に

参考：

マレーシア政府は特に以下分野の投資誘致を強化する方針（1月24日）貿易産業大臣発表

▼電気・電子 ▼製薬 ▼デジタル経済 ▼航空宇宙 ▼化学

新型コロナと規制について

昨今のデータ

- ❖ 感染者数: 3,000~4,000人／日程度
- ❖ 重症化率: 1%未満
- ❖ 成人ワクチン接種率: 約98%
- ❖ 12-17歳ワクチン接種率: 約88%
- ❖ ブースター接種: 成人の45%以上
- ❖ 5歳~11歳の接種も開始

規制

【過去】

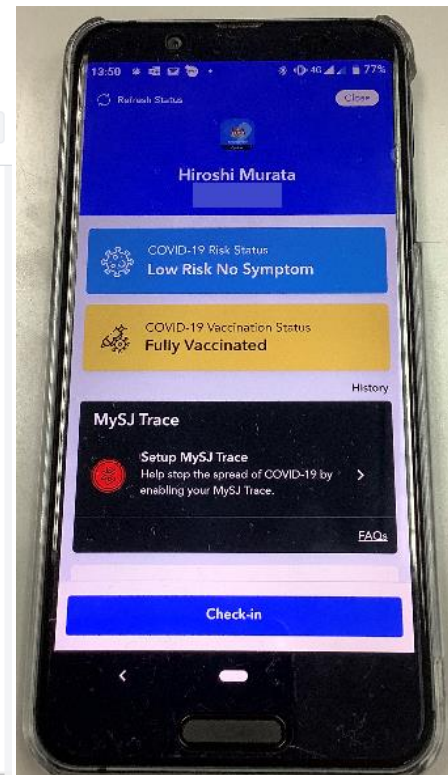
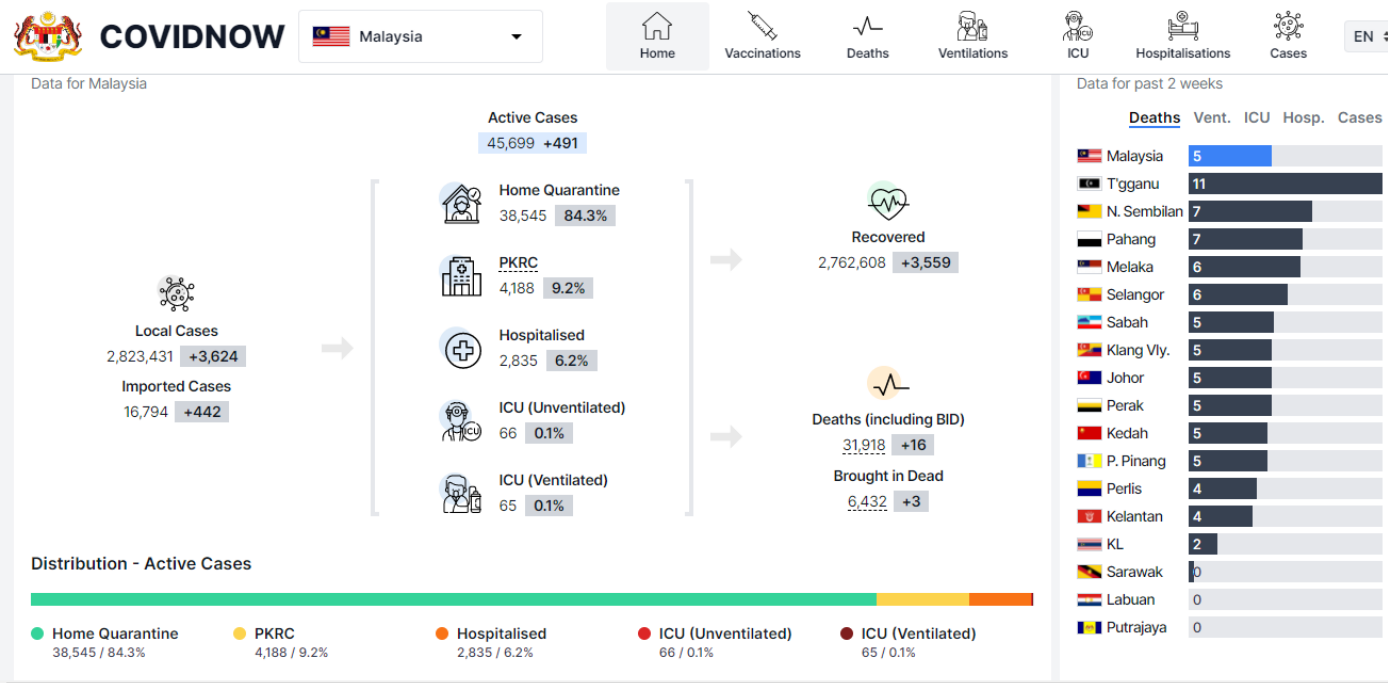
- ❑ 2度の完全ロックダウン(2020年3月、2021年6月)
- ❑ 州越え移動の禁止、自動車の乗車人数制限、学校閉鎖、など

【現在】

- ❑ ビジネス活動は概ね平常。国内観光も可能
- ❑ マスク着用、社会距離、検温およびアプリでのチェックイン等

保健省のCovid-19情報サイト

オミクロン波到来: 20,000／日程度に



2. マレーシアの課題とニーズ

(1) 食と栄養①

日本とマレーシアの死亡原因上位5つ(2020)

日本		マレーシア	
悪性新生物(腫瘍)	27.6%	虚血性心疾患	17.0%
虚血性心疾患	15.0%	肺炎	11.4%
老衰	9.6%	脳血管疾患	8.3%
脳血管疾患	7.5%	交通事故	2.9%
肺炎	5.7%	肺がん	2.5%

出所:厚生労働省、マレーシア保健省



成人の2人に1人が過体重／肥満



子ども(小学生)の3人に1人が過体重／肥満



子供(5歳未満)の10%前後: 低体重などの栄養障害
ビタミン不足も課題(子供の半数近くはビタミン D不足)



栄養不良の二重負荷

食料不足と栄養不足に苦しむ人がいる一方で、偏った食事などで肥満になる人が同時に存在すること



栄養バランスの取れた、安全・安心な食事に対するニーズが高い

（１）食と栄養②

JICAの取り組み

- ✓ マレーシア保健省・教育省等を対象にした、食育の訪日研修
- ✓ 帰国研修員の食育活動普及のフォロー



想定されるニーズ

- ❖ 機能性食品、サプリメント等の製造や販売
- ❖ 健康食のフードサービス(レストラン／宅配／社員食堂など)
- ❖ 学校給食事業や食育関連事業



健康的な食事／栄養関連ビジネスの現状

- 健康食：現状無いわけではないが、高価（屋台飯の倍以上）
- サプリメント等：種類はある程度あるが、マルチビタミン等は少ない
- 特保のような制度は無いが、条件により栄養成分のアピールが可能
- 一般庶民の栄養知識に課題あり



（あくまで私見ですが・・・）

コスト競争力のある栄養バランスの取れた食事、マルチビタミン、食事・栄養指導を含むフィットネス事業、などが狙い目か

(1) 食と栄養③

ハラル

- ❖ (イスラムの教えで)「許可されたもの」という意味のアラビア語⇔ハラム
- ❖ マレーシアではJAKIM(イスラム開発局)が唯一の認証機関
- ❖ 中東でも評価の高い認証→マレーシアを足掛かりに展開も可能
- ❖ HDC(ハラル産業開発公社): ハラル産業の推進を担う公的機関

JICAの取り組み／ニーズ

- ✓ HDC職員らに対する食品安全／品質管理の研修
- ✓ 六次産業化・品質管理とハラル、相互の学び合い
- ✓ 食品安全衛生、ハラル産業関連の輸出や投資に一定のニーズ



高付加価値農業／六次産業化

- ❖ 経済レベルの向上→高品質農産品／加工品への需要の高まり
⇔国内産の農作物の品質に課題、農家の収入も低い
- ❖ 高付加価値産品を生産できる素地はあり
- ❖ 市場としてシンガポールもターゲットになり得る

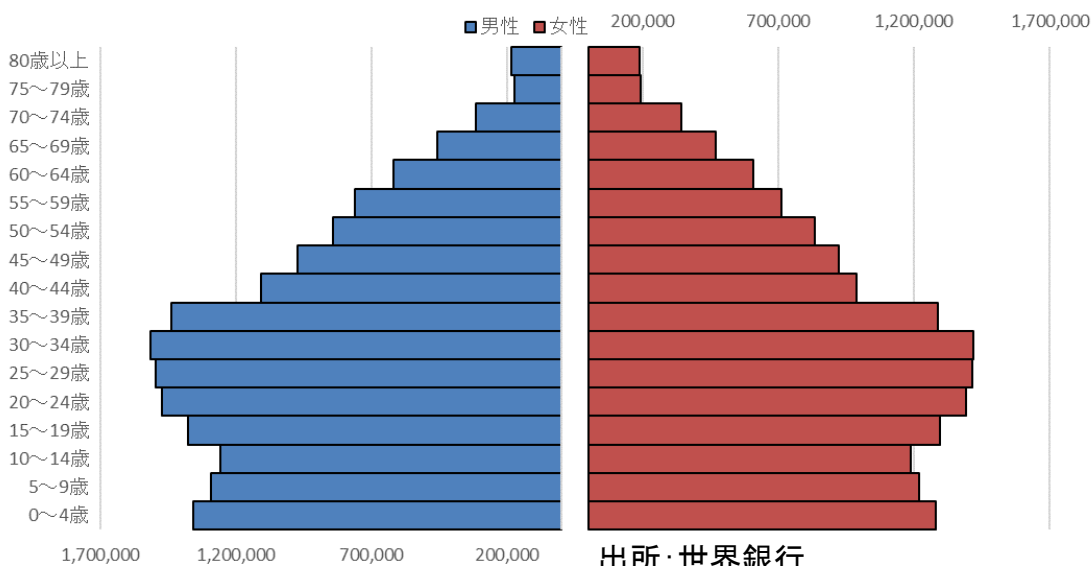
JICAの取り組み／ニーズ

- ✓ 日本企業・自治体と連携した六次産業化支援、農業の高付加価値化支援
- ✓ 品種改良、農産品加工技術、品質管理などに一定のニーズ

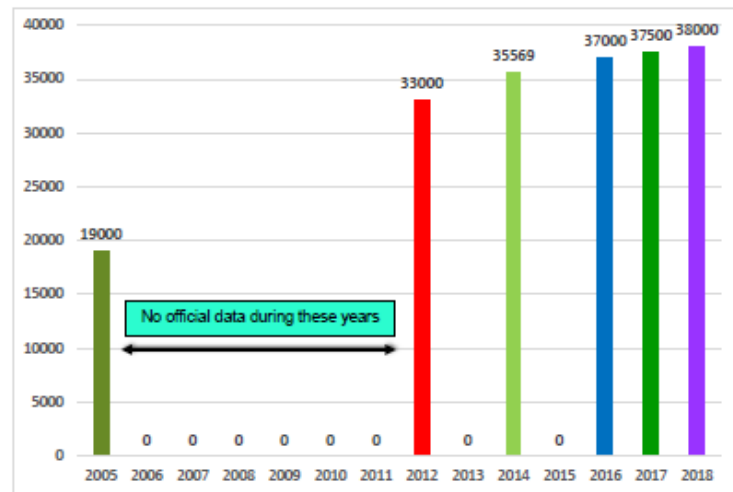


(2) 環境①

マレーシアの年齢別人口 (2020年)

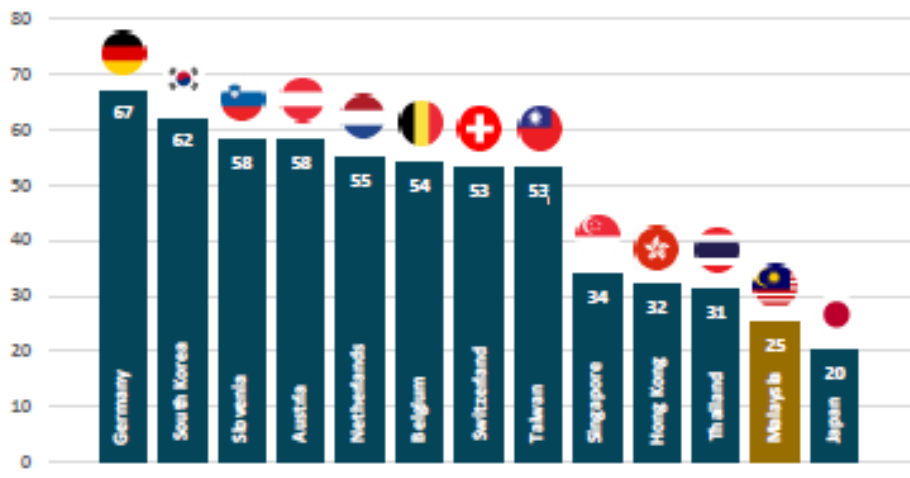


1日のゴミ発生量推計 (ton/日)



出所: SWCorp

Recycling Rate of Selected Countries in 2017 (%)



出所: JICA調査

- ❑ 経済発展・人口増に伴うごみの増加
- ❑ 低いリサイクル率
- ❑ プラスチックごみ: 海洋汚染、生態系破壊
- ❑ E-waste: 有害物質含有、都市鉱山



廃棄物の3R (Reduce: 削減、Reuse: 再利用、Recycle: リサイクル) や、適切な管理・処理に対するニーズが高い

(2) 環境②

JICAの取り組み

- ✓ E-Wasteのリサイクル管理実現に向けた技術協力プロジェクト
- ✓ 民間連携事業によるフロンガス回収・リサイクルの推進
- ✓ 自治体や大学などと連携した3Rの推進

など



想定されるニーズ

- ❖ 環境配慮型製品の普及(例えば生分解性プラスチックなど)
- ❖ E-Wasteをはじめとする、有害廃棄物の無害化、リサイクル事業など
- ❖ その他、再資源化が可能な廃棄物のリサイクル事業



(2) 環境③

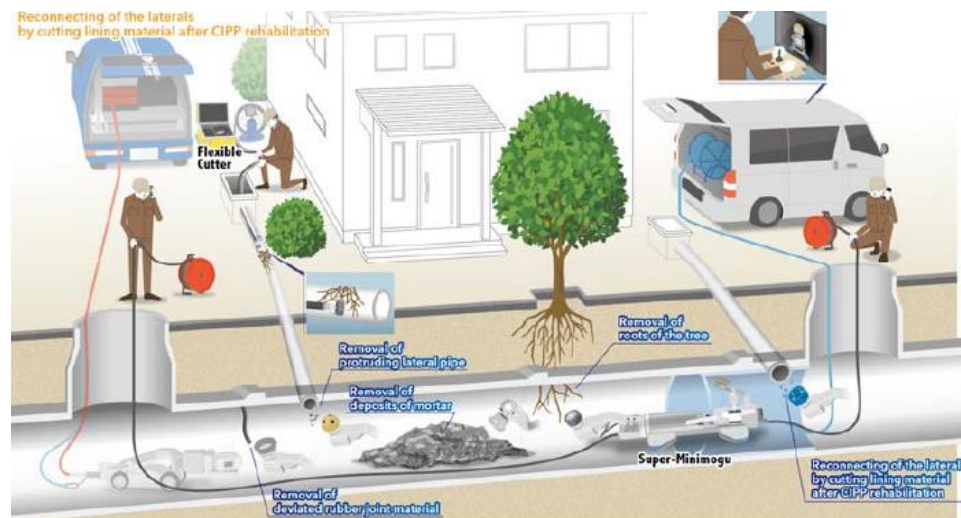
環境関連分野のその他の課題

- ✓ 工場排水等による河川の汚染→浄水場の停止→断水
- ✓ 上下水の配管の老朽化による漏水や断水、汚染、地盤の軟弱化
- ✓ 排気ガスによる温室効果ガス排出、大気汚染



想定されるニーズ

- ❖ 排水処理技術、河川汚染のモニタリング技術、等
- ❖ 管路維持管理のためのデータベース、漏水探査技術、維持管理・更新用機械、等
- ❖ 大気汚染対策技術、モータリシフトのノウハウ、等



(3) その他①

防災

- ❖ 台風や地震、火山噴火といった災害とは殆ど無縁のマレーシア
→気候変動の影響による豪雨、およびそれに伴う洪水や土砂災害が一番の災害
- ❖ 2021年末には大雨によるダムの容量ひっ迫に伴う放水、堤防の決壊等で大規模水害に



JICAの取り組み／ニーズ

- ✓ 防災研究・政策提言の技術協力、地域防災能力向上のための草の根活動支援
- ✓ 堤防強化のための地盤改良工法、地滑り防止のための法面保護技術、雨量・水位のモニタリング技術、気象予報サービス、などにニーズ

(3) その他②

製造業高度化

- ❖ Covid-19の影響による労働者の不足(移民労働者の入国不可、マレーシア国民の肉体労働忌避)
- ❖ 産業全体の生産性向上に課題(機械化は一部の先進的大企業が中心で他ではあまり進まず)

JICAの取り組み／ニーズ

- ✓ 製造業の自動化推進に向けた政策レベル、産業レベルでの準備状況の調査、産業政策に関する研修など
- ✓ 中堅・中小製造業向けのトータルでのソリューション提供にニーズ

教育

- ❖ 基礎教育はほぼ完全達成の一方で、数理処理能力や問題解決能力、非認知能力などに課題
- ❖ Covid-19蔓延に伴う休校措置により学習機会を喪失した生徒が一定数あり

JICAの取り組み／ニーズ

- ✓ 非認知能力向上のための全人教育推進プロジェクト(特別活動の導入など)
- ✓ 個別学習進捗管理の可能なEラーニングや、オンライン／ハイブリッド教授法などにニーズ

最後に・・・

どんな用件でも、まずはご相談下さい！

↓(ご参考)外務省 対マレーシア国別開発協力方針(抜粋)

また、マレーシアはODAの対象ではあるが被援助国の中では所得水準が高い国であり、従来の援助国・被援助国としての関係から、より水平的なパートナー国としての開発協力のモデルを作る上でも重要な国である。

4. 留意事項¹

マレーシアへの協力に当たっては、所得水準が高い被援助国に対する開発協力のモデルの構築を目指すとともに、2015年に創設されたASEAN共同体とその後の展開が東アジア地域の将来の繁栄と安定に大きな影響を与えることを念頭に置く。



つまり・・・

民間の力なくしてマレーシアとの協力関係深化はあり得ない

ありがとうございました

Terima kasih